

家庭ごみに関するアンケート調査における環境学習棟に関する項目

2-9 市民啓発・活動拠点施設に必要な機能について

建て替えを進めている廃棄物処理センターに併設する市民啓発・活動拠点施設としてどのような機能が必要か質問しました。回答者全体では、図2-50に示すとおりです。必要な機能として、「不用品の交換情報を提供したり、展示品を購入できる場所」が約40%で最も高く、次いで「地域のリサイクル活動について相談や情報提供を受けられる場所」が約34%、「ペットボトル、充電式電池などの回収拠点」が約27%、「地域のリサイクル活動をする時の集会や学習の場所」が約26%となっていました。なお、その他の主な意見は「廃食用油や牛乳パックの回収拠点」などでした。

年代別、男女別には、図2-51に示すとおりであり、年代別にそれほど大きな違いは見られませんでした。30歳代では「フリーマーケットの会場」、「牛乳パックの紙すきなど不用品の再生利用が体験できる場所」が他の年代に比べて高くなっていました。

また、男女別では、「地域のリサイクル活動について相談や情報提供を受けられる場所」、「ごみ問題や環境問題に関するシンポジウムや講習会の開催場所」は、男性の方が高く、一方、「フリーマーケットの会場」、「不用品の交換情報を提供したり、展示品を購入できる場所」は、女性の方が高くなっていました。

図2-50 市民啓発・活動拠点施設に必要な機能について（複数回答）

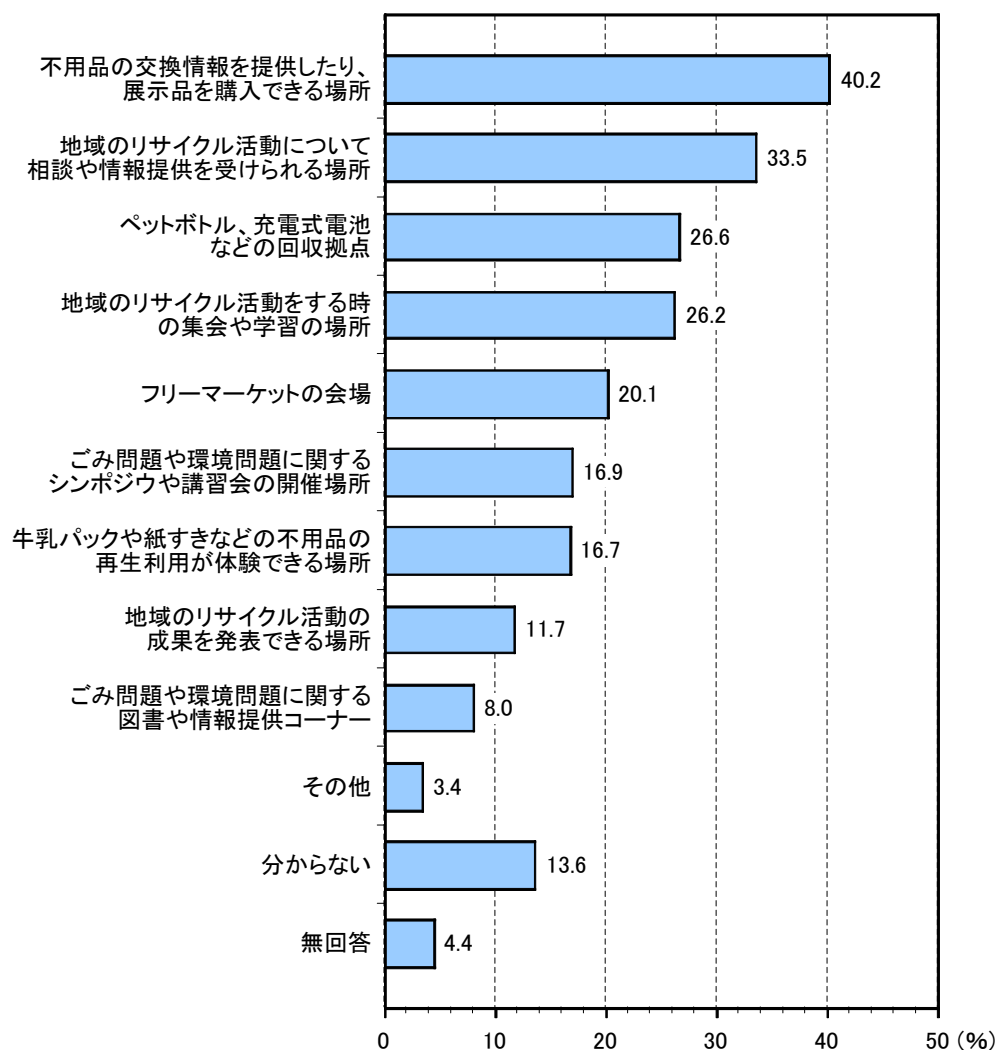


図 2 - 5 1 市民啓発・活動拠点施設に必要な機能について（年代別男女別 複数回答）

